



新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年11月10日執行の豊山町長選挙において、再び町政を担わせていただくことになりました。その職責の重大さを痛感するとともに、皆さまからお寄せいただきました期待と信頼にお応えすべく、新たな決意と強い使命感をもって全身全霊を尽くし、職責を全うする覚悟でございます。

今年の干支は、乙巳（きのとみ）です。

乙は、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ち、巳は、不老不死のシンボルともされています。この二つが合わさる乙巳は、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年になると考えられています。

日本は今、長期的な衰退過程にあります。人口減少・少子高齢化で生産人口は減少しており、働く人の社会保険料も上がり続けています。また、燃料費の高騰や原材料の上昇など物価が高騰しており、先行きはまだ見通せない状況にあります。

本町においても人口の増加が緩やかとなり、少子高齢化が進んでいる状況にあります。とりわけ近年では、出生率が大幅に減少するなど人口減少の兆しがあります。今後は、少子高齢化に伴う扶助費の増加は避けられず、老朽化した公共施



豊山町長



服部 正樹

設の整備が控えていることから、大変厳しい財政状況が続くと予想されます。

こうした中、令和7年度は第5次総合計画後期基本計画の初年度を迎えます。SDGsの観点を踏まえ、誰ひとり取り残さないまちづくりの推進を目指すとともに、急速に変化する社会情勢を見据えた施策の実施に向け、カーボンニュートラルを始め、少子化対策やDXの推進など、直面する行政課題への的確な対応が求められています。

厳しい財政状況においても、皆様の暮らしを最優先とし、実施すべき事業は継続して行なってまいります。また、既存事業の見直しの徹底や事務の効率化による経費削減に取り組んでまいります。

子どもたちが未来に希望や夢を持ち、小さくてキラリと輝くまちであり続けることができるよう、これからどのような選択をしていくのか。皆様に問いかける中で、様々なご意見をいただきながら、心をひとつにし、皆様と一緒に豊山を動かしていきたいと考えています。

最後に、皆様のますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和7年元旦